

病院長への手紙に対する回答(R4.7.11回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
9124	<p>せん妄患者の対応は、安全面を考えると家族が付き添うのは良いことはわかっているが、家族の都合はお構いなしに、付き添うことが当たり前かのように毎日付き添いの確認をとるのはどうなのだろうか。転倒した際には謝罪の言葉もなく、付き添いがなかったから転倒したかのような言い方をされた。強い口調で接している看護師がおり胸が痛くなった。また、ナースコールを押しても対応されず、センサー使用の適正の有無や家族の付き添いのあり方について検討すべきである。</p> <p>家族が断っているにも関わらず清拭をしたこと、状態が悪くなった後の対応など、すべてが理解出来ない。病院からすれば、その日患者さんが亡くなったとすぐに忘れ去られ記憶に残らない。しかし、家族は自分達が死ぬまで記憶に刻まれる。</p> <p>自分がされたら、大切な人がされたら、患者も誰かの大切な家族なんだということを考えて業務に当たってもらえることを望んでいる。</p>	<p>この度は、看護師の対応でお辛い思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。お手紙を拝見し、患者さん・ご家族の大切な時間に看護師が寄り添うことができていなかったことに申し訳ない思いでいっぱいです。本来ならば、お手紙で頂いたように、患者さん・ご家族の心が温まる看護をスタッフ全員ができなくてはならないと思います。また、患者さんに何が出来るのかをご家族と共に考え、共有することが必要であると思います。今回のご意見をもとに、カンファレンスで患者さん・ご家族に寄り添った看護をするためにはどうしたらよいかを話し合いました。今後、同じような思いをする患者さん・ご家族がいないように看護していきたいと思っております。</p>
9125	<p>トイレの便座が高い。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。便座の高さにつきましては、立上りを考慮した高さにはしていますが、今後、検討してまいります。</p>
9126	<p>日々の心情</p>	